

■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

●この取扱説明書(本書とする)は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

●無料修理を受けられる場合は、本書と「ご購入明細書」の両方が必要になります。お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認いただき、本書とともに大切に保管してください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

●保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。

●電気部品に関しましては、下記の年限とさせていただきます。

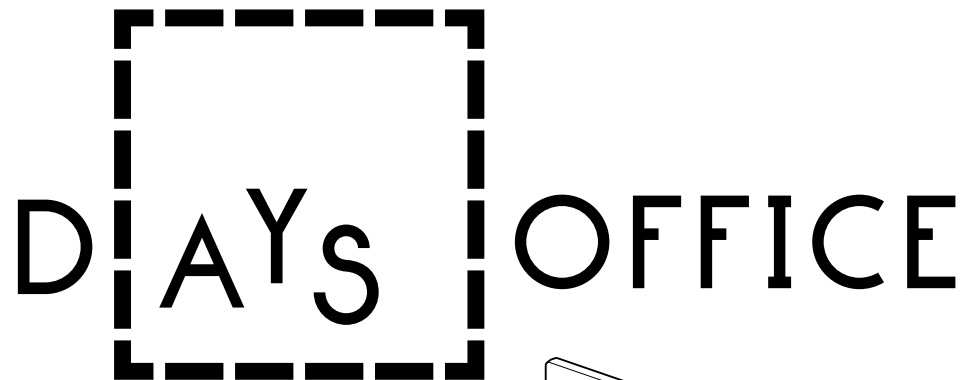
1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お客様の個人情報の利用について

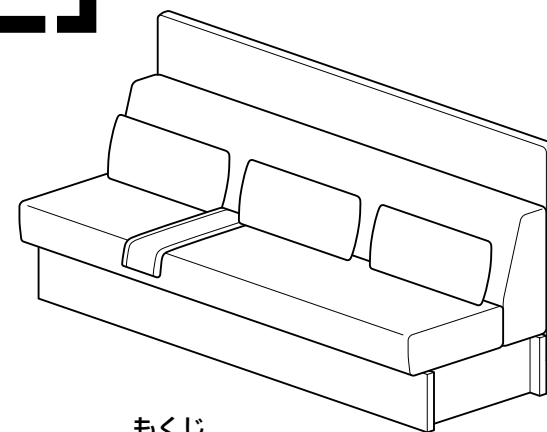
ご購入明細書に記入されている、お客様の個人情報は保証期間内の修理・交換活動にのみ使用し、それ以外の目的に利用したり、第三者に提供することは一切ございません。

〈無料修理規定〉

- 保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
 - お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。
 - 保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
 - 保証期間内でも以下の場合には有料となりますのでご了承ください。
(イ) 本書、およびご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ) ご購入明細書にお買い上げ年月日お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ) 消耗部品(弊社指定部品)の交換
(ニ) 第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ) 火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ) 故意・過失に関係なく、使用上の誤りによる故障または破損
(ト) 加工・改造、不当な修理による故障または破損
(チ) 屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(リ) 使用上の消耗により発生する異音などの現象変質またはさびかびの発生
(ヌ) 外観の傷へこみ・変形や再現のできない不良
(ル) 一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
5. 転居の場合は、事前にお買い上げの販売店、またはお客様相談室までご相談ください。
6. 本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書およびご購入明細書は、再発行致しませんので大切に保管してください。



wired sofa



もくじ

このたびは DAYS OFFICE 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

- 1. 安全上のご注意 1
- 2. 未永くご使用いただくためのご注意 3
- 3. 使いかた 4
- 4. お手入れのしかた 6
- 5. 部品の交換について 7
- 6. 仕様 7
- 7. ソファの組み立てかた 10
- 8. ソファの連結のしかた 20
- 9. クッション(オプション)の取り付けかた 25
- 10. 電源の立ち上げ位置について 28
- 11. 防災備蓄の設置について(スタンダードタイプのみ) 29

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号
ホームページURL <http://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎ 0120-201-594

受付時間: 9時~17時(土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く) 1907090056CKH

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。

有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。

製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。

- ・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。

- ・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿（温度28℃、相対湿度50%超が目安）になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。

- 乱暴な取り扱いや、用途以外の使用はしないでください。

けがや変形・破損の原因になります。

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。

転倒によるけがの原因になります。

- 設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。

傾いた状態で設置すると、本体が倒れて、けがをするおそれがあります。

①

- ガタツキがある場合は、ガタツキがなくなるようアジャスターを調整してください。

ガタついた状態で使用すると、本体が倒れて、けがをするおそれがあります。

- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。

やけどや火災の原因になります。

- 可動部のすき間に手や指を入れないでください。

けがの原因になります。

- 運動具代わりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や破損によるけがの原因になります。

- 製品の上に立ち上がったたり、踏台代わりにしないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や転落によるけがの原因になります。

- 前後逆方向に座ったり、肘や背に座らないでください。

転倒によるけがの原因になります。

- 座面の端に腰を掛けないでください。

転倒によるけがの原因になります。

- 背もたれや肘にぶら下がらないでください。(特にお子様にご注意ください。)

転倒や転落によるけがや破損の原因になります。

- 張り地やクッションが破れたままで使用しないでください。

内部の構造物により、けがや衣服の損傷の原因になります。

- 可動部に注油しないでください。

油がたれて床や衣類を汚す原因になります。

- 製品の分解や改造はしないでください。

けがや破損の原因になります。

- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。

製品の変形・破損や転倒によるけがの原因になります。早めに締め直してください。

- 部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。

- この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

②

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。屋外での使用や水ぬれは、変色や変形・そり・目割れなどの原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。変色や変形・そり・目割れなどの原因になります。
- 飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などをそのまま放置しないでください。表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- セロハンテープやシールなど、粘着性のあるものを貼り付けしないでください。表面材をはがれる原因になります。
- 塗装面にプラスチックやビニールなどの樹脂製品やゴム製品を長期間放置しないでください。塗装との化学反応により、接触面が軟化したり、ベトツキ現象や色の移行を起すことがあります。
- ときどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

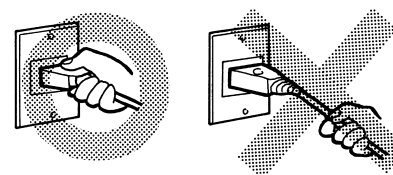
3.使いかた

⚠警告

- コンセントがある場合、コンセントに接続する機器は、定格消費電力合計が1500W以内で使用してください。これを超えると、異常発熱して火災の原因になるおそれがあります。

⚠注意

- コンセント、電源プラグ、コードがある場合は、以下の内容を守らないと、感電やショート・火災の原因になります。
 - ・温度・湿度の高い場所では使用しないでください。
 - ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
 - ・電源プラグは、刃の根元までしっかり差し込んでください。
 - ・電源プラグに、ホコリが付いた状態で使用しないでください。
 - ・コンセントの差し込み口に、異物やゴミが入らないようにしてください。
 - ・電源プラグは、必ずプラグを持って抜いてください。



- ・暖房器具など火気を近づけたり、熱風を当てないでください。
- ・コンセントや配線に水がかからないように注意してください。
- ・コンセントや配線に洗剤や殺虫剤をかけないでください。
- ・コードを止め金などで固定して使用しないでください。
- ・コードをたばねて使用しないでください。
- ・コードの上に重いものをのせたり、はさみ込んだりしないでください。
- ・コードを敷物の下にして使用しないでください。
- ・コードを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。
- ・コードが傷ついたままで使用しないでください。
- ・コンセントが破損したり、外れかけた状態で使用しないでください。
- ・お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・コンセント部やプラグ部などの分解や改造をしないでください。
- ・コードをワゴンなどで踏み付けしないでください。

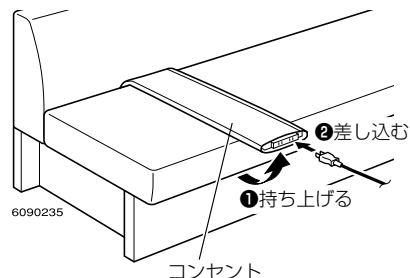
3. 使いかた

① コンセントの使いかた

(D [奥行き] コンパクトタイプ以外)

コンセントの先端を持ち上げ、機器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源プラグを抜くときは、コンセントを持ちながらゆっくり抜いてください。



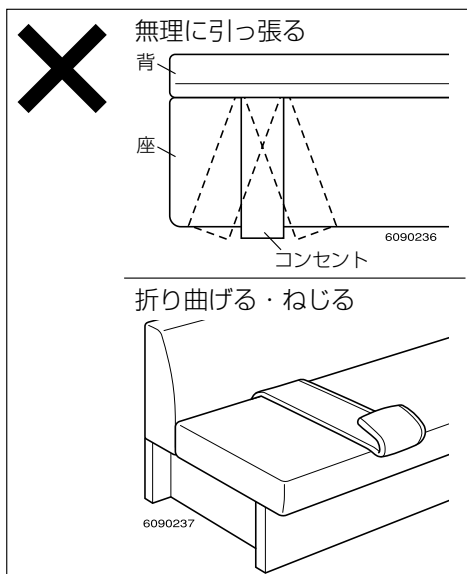
△注意

- コンセントの張り地部の上に乗ったり座ったり、重いものをのせたりしないでください。

感電やショート・火災の原因になります。

- コンセントを無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじらないでください。

感電やショート・火災の原因になります。

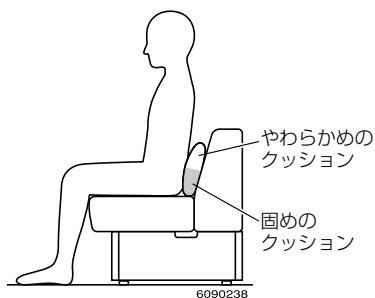


② クッション(オプション)の使いかた

(D [奥行き] コンパクトタイプ以外)

クッションの上部と下部の固さに違いがあることで、座ったときに腰を支え、姿勢をサポートします。

座るときの姿勢に合わせて、クッションの角度を変えることができます。



⑤

4. お手入れのしかた

① 布部の汚れ

- 日常のお手入れは、布部を手ではたくか、掃除機でほこりを吸い取ってください。
- めれた場合は水分をよく拭き取り、温度の上がらない場所でよく乾燥させてください。

〈汚れを落とすときのご注意〉

- 化学ぞうきんや溶剤を使うと、変色や物性が低下する場合があります。
- 市販のシミ抜きなどをご使用の際は、その使用説明をご理解の上、使用してください。

② レザー部の汚れ

日常のお手入れは、レザー部を手ではたくか、掃除機でほこりを吸い取ってください。

〈汚れを落とすときのご注意〉

- 化学ぞうきんを使うと、変色する場合があります。
- 市販のシミ抜きなどをご使用の際は、その使用説明をご理解の上、使用してください。

③ 木部の汚れ

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

〈汚れを落とすときのご注意〉

- 水にぬれたままにしておいたり、化学ぞうきん、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。目割れ・変色の原因になります。
- 木部に専用のワックスやクリーナーをご使用の際は、その使用説明をご理解の上、ご使用ください。

⑥

5.部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

6.仕様

ソファ

品 名					DAYS OFFICEシリーズ wired sofa			
タ イ プ		W1200	W1200 (コンセント付)	W1500	W1500 (コンセント付)			
品番：XY-BWS		S12□	SC12□	S15□	SC15□			
外 寸 法 (mm)	幅	1200		1500				
	奥行き	750		750				
	高さ	750		750				
	座面高さ	440		440				
重 量 (kg)		47.4	48.4	53.2	54.2			
座 席 数		1～2			2			
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木						
	座面	合板・MDF・天然木						
	台輪	合板・MDF・天然木						
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿						
	座面	ウレタンフォーム・綿						
表 面 加 工	台輪	メラミン化粧板						
張 り 材		布張地・PVCレザー						

品 名						DAYS OFFICEシリーズ wired sofa				
タ イ プ		W1800	W1800 (コンセント付)	W2100	W2100 (コンセント付[1個])	W2100 (コンセント付[2個])				
品番：XY-BWS		S18□	SC18□	S21□	SC121□	SC221□				
外 寸 法 (mm)	幅	1800			2100					
	奥行き	750			750					
	高さ	750			750					
	座面高さ	440			440					
重 量 (kg)		61.2	62.2	69.9	70.9	71.9				
座 席 数		2～3			3					
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木								
	座面	合板・MDF・天然木								
	台輪	合板・MDF・天然木								
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿								
	座面	ウレタンフォーム・綿								
表 面 加 工	台輪	メラミン化粧板								
張 り 材		布張地・PVCレザー								

品 名					DAYS OFFICEシリーズ wired sofa			
タ イ プ		W1200 (パネル付)	W1200 (パネル付・コンセント付)	W1500 (パネル付)	W1500 (パネル付・コンセント付)			
品番：XY-BWS		SP12□	SPC12□	SP15□	SPC15□			
外 寸 法 (mm)	幅	1210			1510			
	奥行き	785			785			
	高さ	1020			1020			
	座面高さ	440			440			
重 量 (kg)		56.2	57.2	66.1	67.1			
座 席 数		1～2		1～2		2		
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木						
	座面	合板・MDF・天然木						
	台輪	合板・MDF・天然木						
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿						
	座面	ウレタンフォーム・綿						
表 面 加 工	台輪	メラミン化粧板						
張 り 材		布張地・PVCレザー						

品 名						DAYS OFFICEシリーズ wired sofa				
タ イ プ		W1800 (パネル付)	W1800 (パネル付・ コンセント付)	W2100 (パネル付)	W2100 (パネル付・ コンセント付[1個])	W2100 (パネル付・ コンセント付[2個])				
品番：XY-BWS		SP18□	SPC18□	SP21□	SPC121□	SPC221□				
外 寸 法 (mm)	幅	1810			2110					
	奥行き	785			785					
	高さ	1020			1020					
	座面高さ	440			440					
重 量 (kg)		78.2	79.2	91	92	93				
座 席 数		2～3		2～3		3		3		
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木								
	座面	合板・MDF・天然木								
	台輪	合板・MDF・天然木								
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿								
	座面	ウレタンフォーム・綿								
表 面 加 工	台輪	メラミン化粧板								
張 り 材		布張地・PVCレザー								

6.仕様

品 名		DAYS OFFICEシリーズ wired sofa	
タ イ プ		コーナータイプ	コーナータイプ(パネル付)
品番: XY-BWS		C□	CP□
外 寸 法 (mm)	幅	864	903
	奥行	864	903
	高さ	750	1000
	座面高さ	440	440
重 量 (kg)		45.1	62.7
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木	
	座面	合板・MDF・天然木	
	台輪	合板・MDF・天然木	
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿	
	座面	ウレタンフォーム・綿	
表 面 加 工	台輪	メラミン化粧板	
張 り 材		布張地・PVCLレザー	

品 名		DAYS OFFICEシリーズ wired sofa (D [奥行き] コンパクトタイプ)					
タ イ プ		W1200	W1200 (パネル付)	W1500	W1500 (パネル付)	W1800	W1800 (パネル付)
品番: XY-BWS		S126□	SPH126□	S156□	SPH156□	S186□	SPH186□
外 寸 法 (mm)	幅	1200	1210	1500	1510	1800	1810
	奥行	615	650	615	650	615	650
	高さ	750	1200	750	1200	750	1200
	座面高さ	440	440	440	440	440	440
重 量 (kg)		41.6	54	47.2	60.5	55.4	69.6
座 席 数		2	2	2	2	3	3
構 造 部 材	背もたれ	合板・MDF・天然木					
	座面	合板・MDF・天然木					
	台輪	合板・MDF・天然木					
クッション材	背もたれ	ウレタンフォーム・綿					
	座面	ウレタンフォーム・綿					
表面加工	台輪	メラミン化粧板					
張り材		布張地・PVCLレザー					

品 名		クッション	ソファベース連結金具
品番: XY-BWS		CS□	J10N
外 寸 法 (mm)	幅	600	245
	奥行	150	50
	高さ	250	30
重 量 (kg)		1	2
表 面 加 工		—	粉体塗装

コンセント

定格電圧 (V)	125
定格電流 (A)	15
最大消費電力 (W)	1500

7.ソファの組み立てかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や落下によるけが・破損のおそれがあります。
- 製品を持ち上げるとき、座を持たないでください。
座が外れて落下による破損やけがの原因になります。

※以下の説明は、ストレートタイプ パネルなし (コンセント付き) **W2100**タイプの場合です。その他のタイプの場合も、部品の形状や個数は違いますが、同様の要領で取り付けることができます。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

ソファ (スタンダードタイプ)

梱包品番	部品の種類	個 数			
		W1200	W1500	W1800	W2100
XYH-BWSS (12・15・18・21)	背もたれ	1			
	座	1			
XYB-BWSS (12・15・18・21)	台輪	1			
	木ダボ φ10×30	2			
	十字穴付P3六角ボルトM8×50	4	5	6	6
XYP-BWSS (12・15・18・21)	背パネル	1			
	木ダボ φ10×30	2			
	十字穴付P3六角ボルトM8×50	4	6	8	8

コンセント

梱包品番	部品の種類	個 数
XYA-BWSEC	コンセント	1

7.ソファの組み立てかた

ソファ（コーナータイプ）

梱包品番	部品の種類	個数
XY-BWSC(P)	ソファ完成品	1

ソファ（コンパクトタイプ）

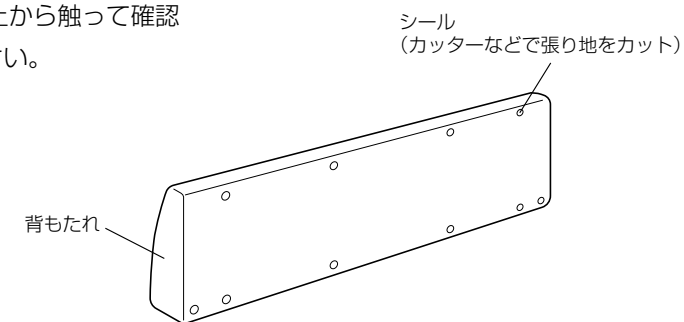
梱包品番	部品の種類	個数		
		W1200	W1500	W1800
XYH-BWSS(126・156・186)	背もたれ		1	
XYB-BWSS(126・156・186)	座		1	
XYB-BWSS(126・156・186)	台輪		1	
	木ダボ φ10×30		2	
	十字穴付P3六角ボルトM8×50	4	5	6
XYP-BWSS(126・156・186)	背パネル		1	
	木ダボ φ10×30		2	
	十字穴付P3六角ボルトM8×50	4	6	8

2 背パネルの取り付け （コーナータイプ以外）

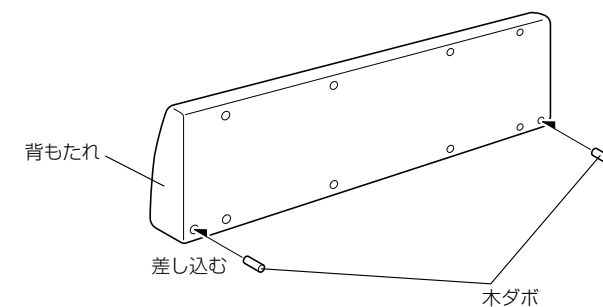
※背パネルがない場合は、背もたれ背面のシールを取り外してから「3 背もたれと台輪の取り付け（コーナータイプ以外）」に進んでください。

1. 背もたれ背面のシールの位置の張り地をカッターなどでカットしてください。

※カット前にシール貼付位置付近に穴位置があるか張り地の上から触って確認してカットしてください。

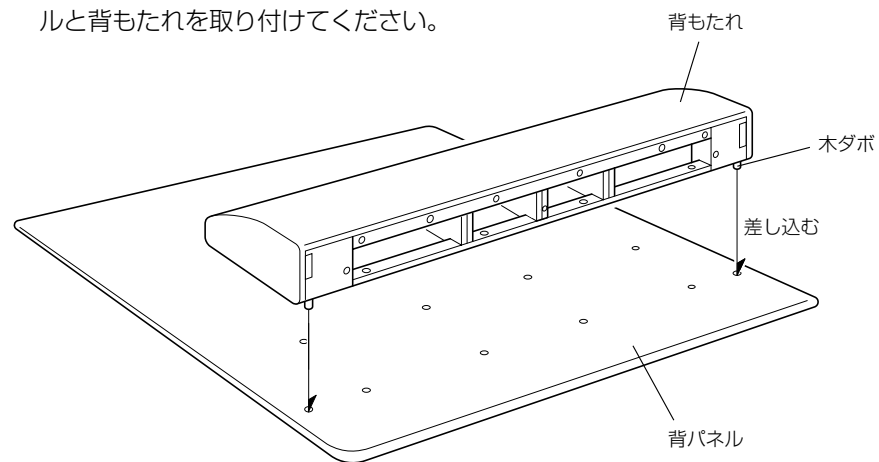


2. 下側の両サイドの穴に木ダボを確実に差し込んでください。

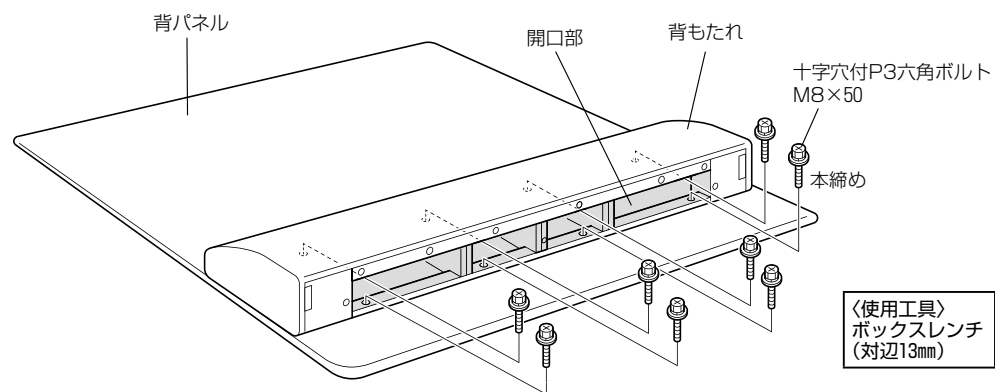


7.ソファの組み立てかた

- 3.背もたれに取り付けた木ダボを背パネル
下側の両サイドの穴にはまるよう背パネル
と背もたれを取り付けてください。

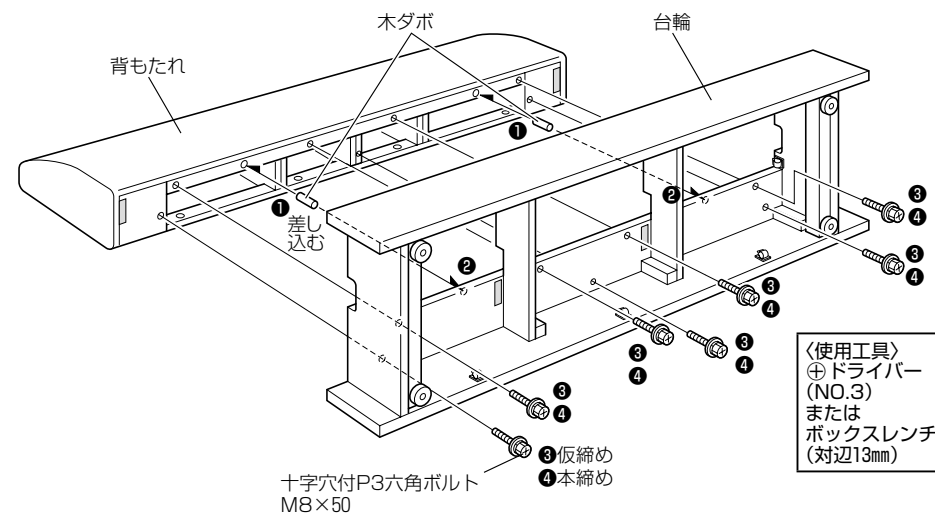


- 4.開口部から背パネルと背もたれをボルト
で固定 (本締め) してください。



③ 背もたれと台輪の取り付け (コーナータイプ以外)

- 1.木ダボを、背もたれの取付穴に確実に差し込んでください。
- 2.背もたれの木ダボを、台輪の取付穴に確実に差し込んでください。
- 3.背もたれと台輪をボルトで仮締めしてください。
- 4.背もたれと台輪のそろいを確認して、仮締めしたボルトを本締めしてください。



④ ソファ本体の設置

1.コンセント付きのみ

床面に配置されている電源の位置が、設置するソファ本体のレイアウトに合っていることを確認してください。(※ページ「10.電源の立ち上げ位置について」参照)

2.ソファ本体を、レイアウト位置にゆっくり置いてください。


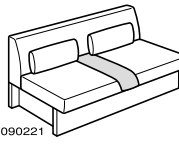
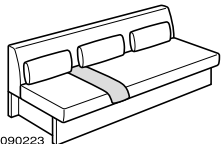
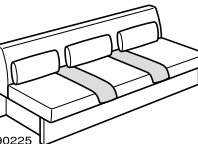
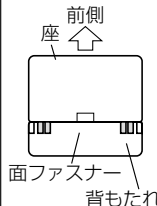
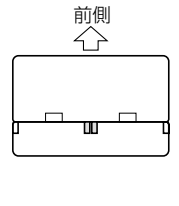
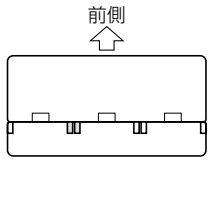
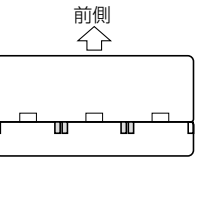
※コーナータイプの場合、組み立ては行いません。

⑤ コンセントの取り付け
(コンセント付きのみ)

1.コンセントを取り付ける前に、コンセントの取付位置とコンセントを取り付ける座の面ファスナーの位置を以下より確認してください。

〈ご注意〉

コンセントは、D [奥行き] コンパクトタイプには取り付けることができません。

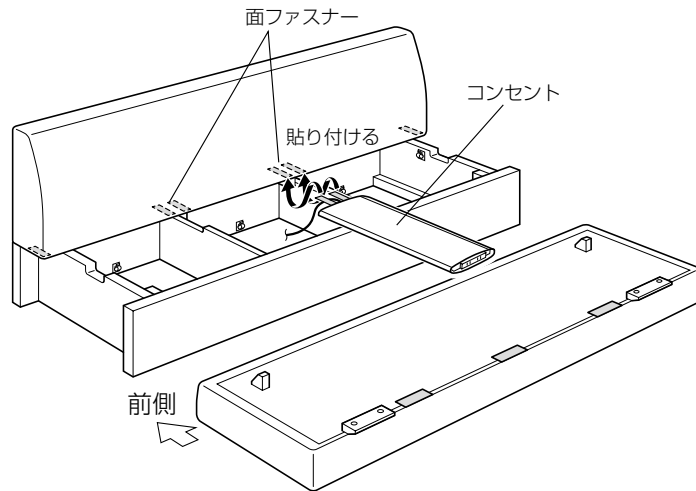
	W1200	W1500・W1800	W2100	
コンセントの取付位置				
コンセントを取り付ける面ファスナーの位置 ※図は裏面から見ています。				

7.ソファの組み立てかた

2.コンセントの面ファスナーを、背もたれ底面の面ファスナーに貼り付けてください。

〈ご注意〉

このとき、面ファスナーの全面がしっかり貼りつくようご注意ください。

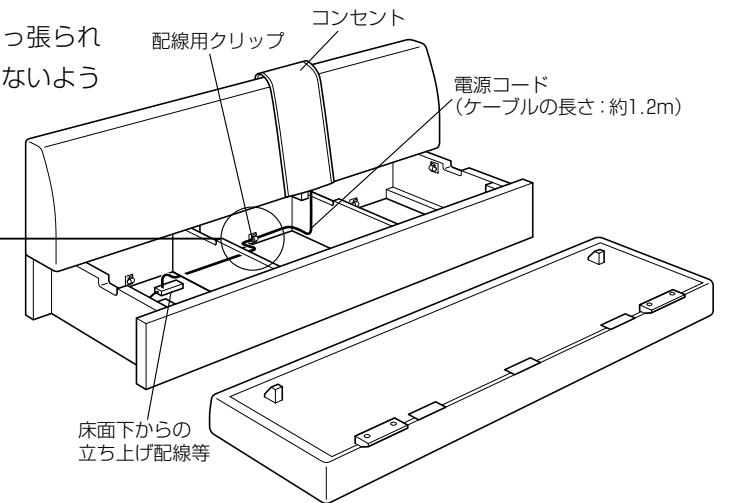
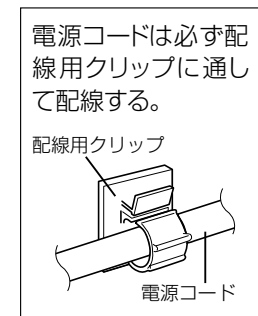


3.コンセントの電源コードを、ソファ本体の台輪（配線用の開口部）に配線してください。


※このとき、電源コードを必ず配線用クリップに通して配線してください。

〈ご注意〉

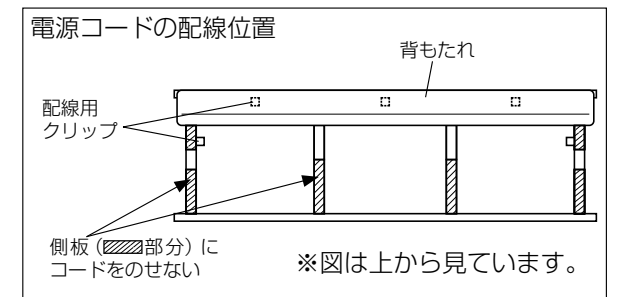
配線時、電源コードに引っ張られて、コンセントがたわまないようご注意ください。



△注意

電源コードを配線するときは、必ず配線用クリップを使用し、側板（部分）にコードがのらないようにしてください。

座と台輪の間にコードがはさまり、破損や断線により、ショート・火災のおそれがあります。



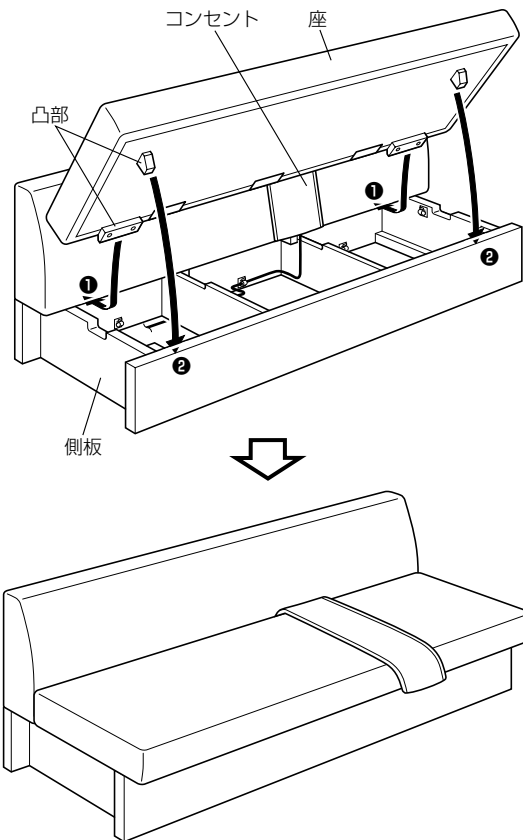
⑥クッション(オプション)の取り付け (クッションを取り付ける場合のみ)

㊸ページ「9.クッション(オプション)の取り付けかた」を参照して、クッションを取り付けてください。

⑦座の取り付け

座を起こして、座の凸部をソファ本体の台輪に合わせてはめ込んでください。

※コンセントやクッションを取り付けている場合、コンセントやクッションが落下しないように押さえながら行ってください。



△注意

コンセント付きなど、台輪に配線を行っている場合、コード類が台輪の側板にのっている状態で、座を取り付けないでください。

コード類の破損や断線により、ショート・火災の原因になります。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

8.ソファの連結のしかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。転倒や落下によるけが・破損のおそれがあります。

①構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

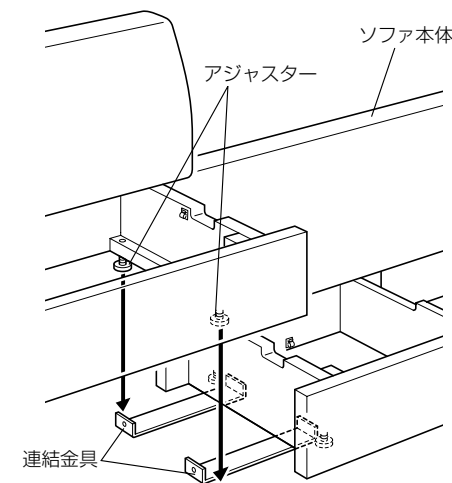
梱包品番	部品の種類	個数
XY-BWSJ10N	連結金具	2
	当て板金具	2
	固定ボルト	2

②ソファ本体の設置

1.コンセント付きのみ

床面に配置されている電源の位置が、設置するソファ本体のレイアウトに合っていることを確認してください。(㊸ページ「10.電源の立ち上げ位置について」参照)

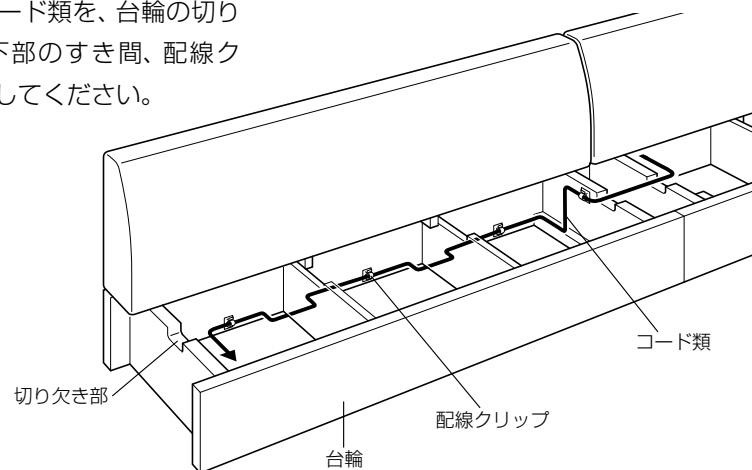
- 2.連結金具(2個)を、ソファ本体台輪のアジャスター側に入れ、連結するソファ本体をレイアウト位置に並べてください。



8.ソファの連結のしかた

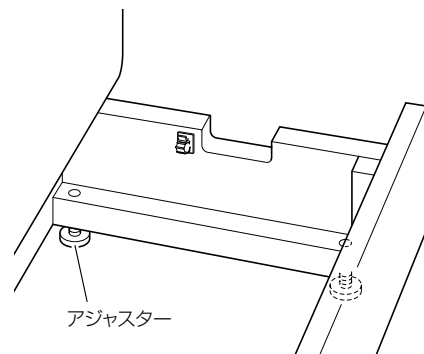
③配線のしかた (配線する場合のみ)

コンセントなどのコード類を、台輪の切り欠き部または台輪下部のすき間、配線クリップを通して配線してください。

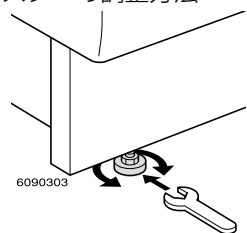


④レベル調整

ソファ本体台輪のアジャスターを調節して、ソファどうしのレベルを合わせてください。



アジャスターの調整方法

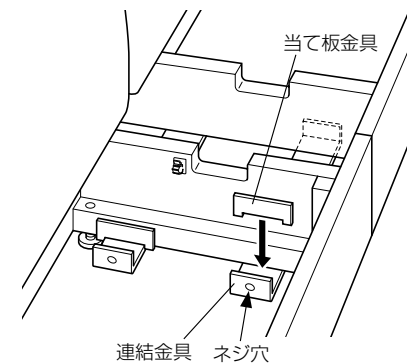


〈使用工具〉
スパナ※
(対辺17mm)

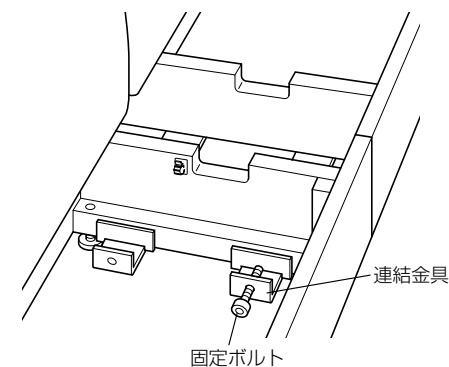
※厚みが5mm以下の薄型スパナを使用してください。

⑤連結金具の取り付け

1.当て板金具を、連結金具のネジ穴に入れてください。



2.固定ボルトを、連結金具のネジ穴に入れて締めこんでください。



8.ソファの連結のしかた

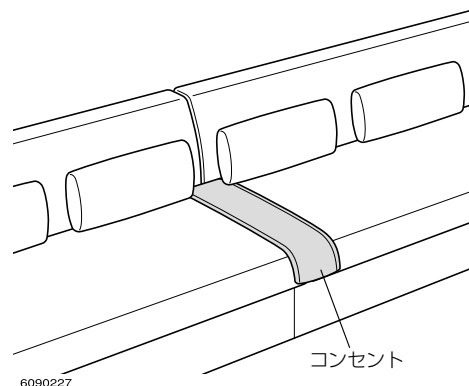
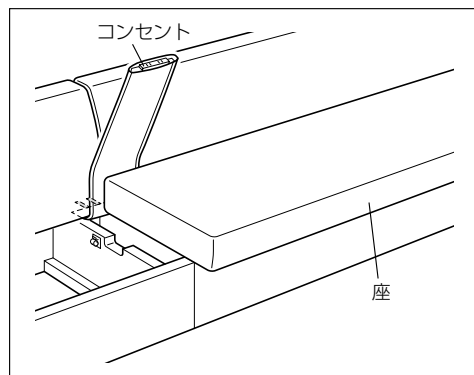
〈ご注意〉

コンセントおよびクッションは、D [奥行き] コンパクトタイプには取り付けできません。

⑥コンセントの取り付け (コンセント付きのみ)

⑩ページ「⑤コンセントの取り付け(コンセント付きのみ)」の要領で、コンセントを座裏面に貼り付けてください。

※連結するソファの中間にコンセントを取り付けると、ソファ間の継ぎ目を隠すことができます。図のように連結されたソファの背もたれをまたぐ形でコンセントを取り付けてください。



⑦クッション(オプション)の取り付け (クッションを取り付ける場合のみ)

⑫ページ「9.クッション(オプション)の取り付けかた」を参照して、クッションを取り付けてください。

⑧座の取り付け

1.座を起こして、座の凸部をソファ本体の台輪に合わせてはめ込んでください。

※コンセントやクッションを取り付けている場合、コンセントやクッションが落下しないように押さえながら行ってください。

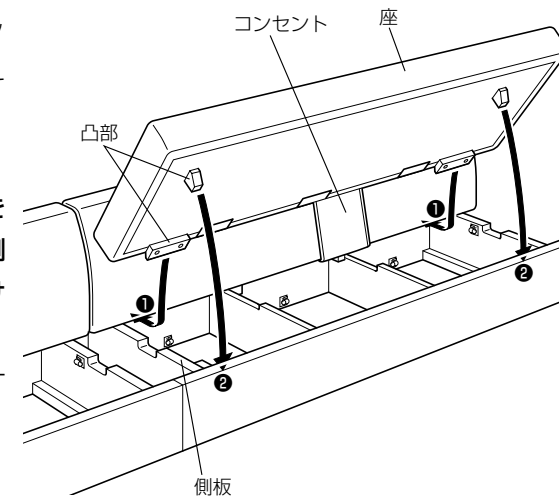
△注意

コンセント付きなど、台輪に配線を行っている場合、コード類が台輪の側板にのっている状態で、座を取り付けないでください。

コード類の破損や断線により、ショート・火災の原因になります。

2.他の座も、「1」と同様の要領で座をはめ込んでください。

以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。



9.クッション(オプション)の取り付けかた

△注意

- 製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- 製品の組み立ては、必ず2人以上で行ってください。
転倒や落下によるけが・破損のおそれがあります。

〈ご注意〉

クッションを、ソファ(D [奥行き] コンパクトタイプ)に取り付けることはできません。

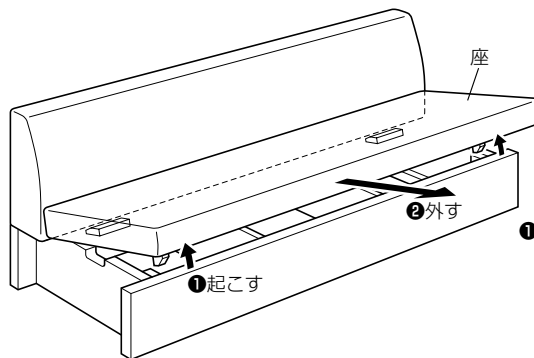
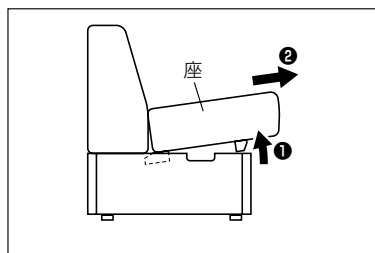
1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

品番	品名	個数
XY-BWSCS□	クッション	1

2 座の取り外し (座が取り付けられている場合のみ)

座の手前側を少し起こして、引き抜きながら外してください。

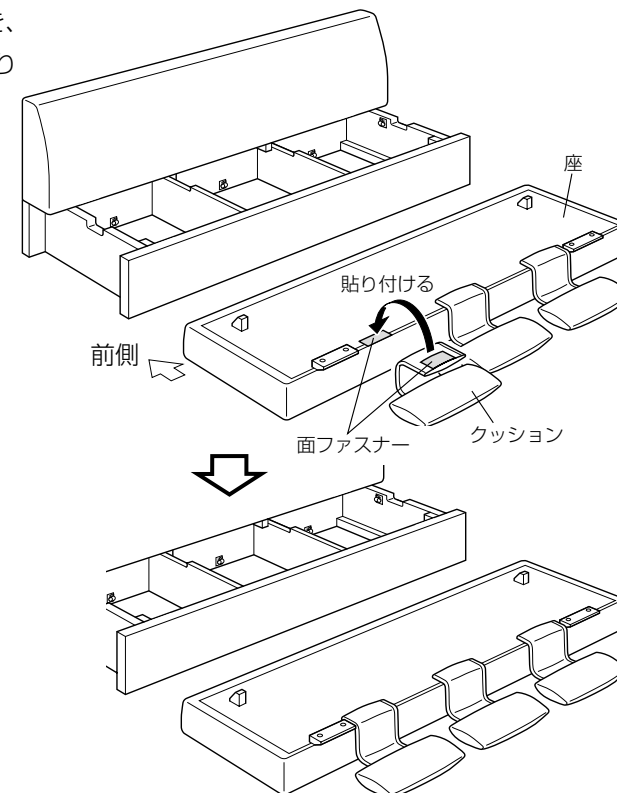


3 クッションの取り付け

1.クッションを取り付ける前に、クッションの取付位置とクッションを取り付ける座の面ファスナーの位置を以下より確認してください。

	W1200	W1500・W1800	W2100
クッションの取付位置	 6090228 クッション	 6090230	 6090232
クッションを取り付ける面ファスナーの位置 ※図は裏面から見えています。	 前側 座 ↑ 面ファスナー	 前側 ↑	 前側 ↑

2.クッションの面ファスナーを、座裏面の面ファスナーに貼り付けてください。



9.クッション(オプション)の取り付けかた

4 座の取り付け

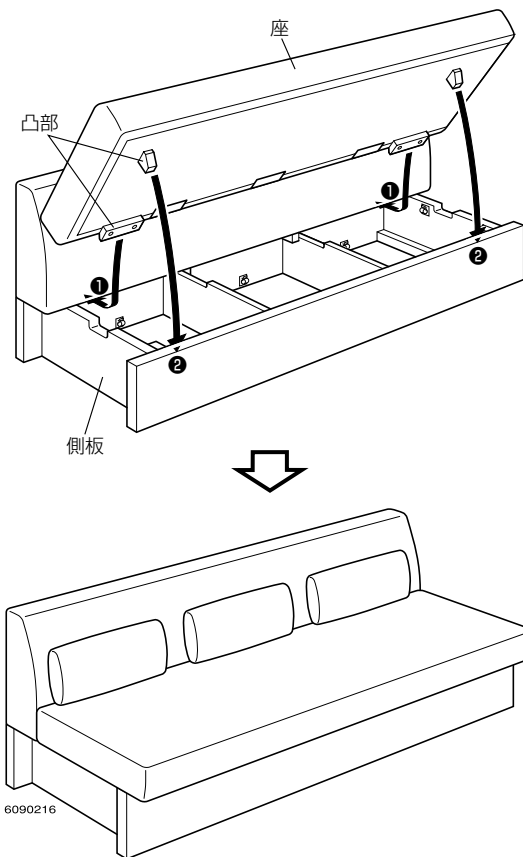
座を起こして、座の凸部をソファ本体の台輪に合わせてはめ込んでください。

※コンセントやクッションを取り付けている場合、コンセントやクッションが落下しないように押さえながら行ってください。

△注意

コンセント付きなど、台輪に配線を行っている場合、コード類が台輪の側板にのっている状態で、座を取り付けしないでください。

コード類の破損や断線により、ショート・火災の原因になります。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

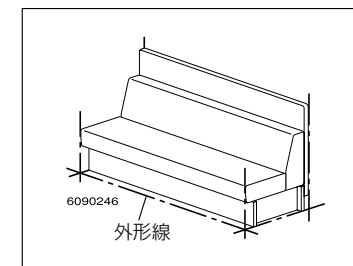
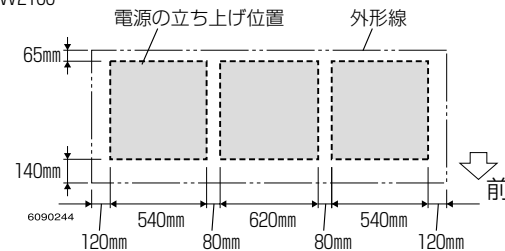
10.電源の立ち上げ位置について

コンセントなどで使用する電源は、ソファを設置する床面の下図の位置から立ち上げてください。

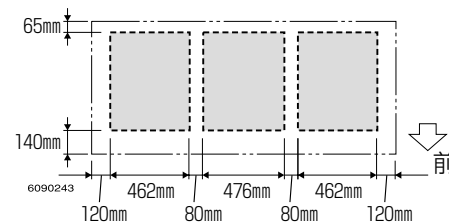
※図は上から見ています。

●ソファ

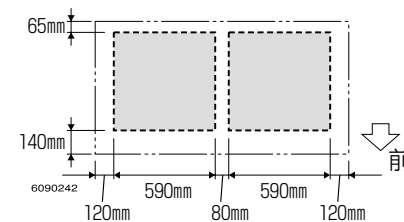
W2100



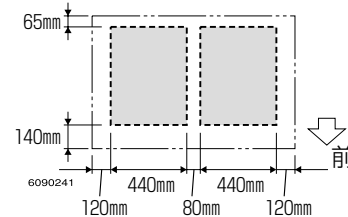
W1800



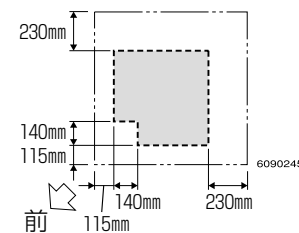
W1500



W1200



●ソファ (コーナータイプ)



11.防災備蓄の設置について(スタンダードタイプのみ)

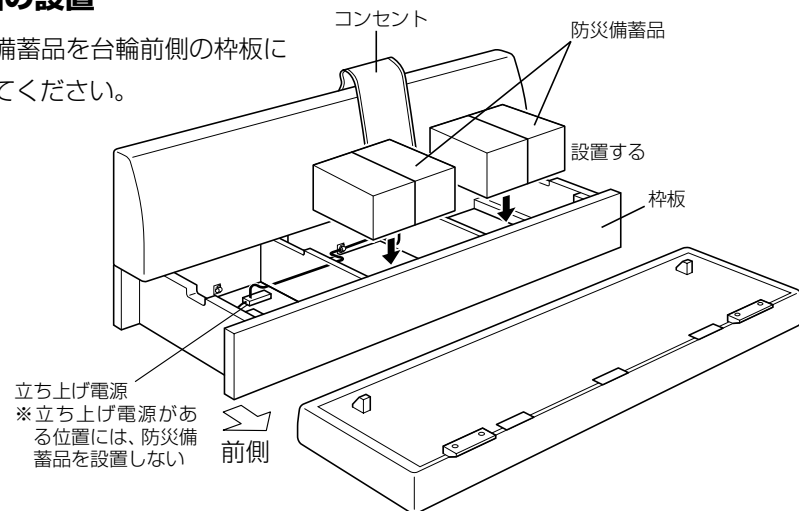
以下の手順で、スタンダードタイプの台輪内部部に防災備蓄品を保管することができます。

1 座の取り外し (座が取り付けられている場合のみ)

㊸ページ「[2]座の取り外し」を参照して、座を取り外してください。

2 防災備蓄品の設置

図のように防災備蓄品を台輪前側の枠板に合わせて設置してください。



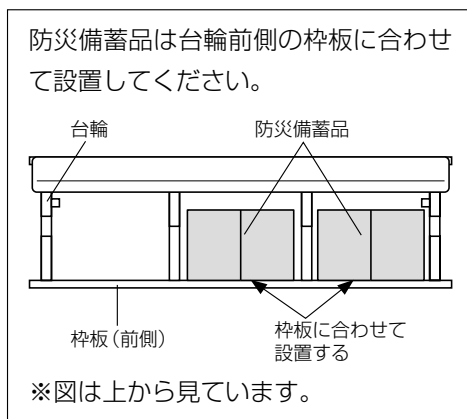
<ご注意>

このとき、立ち上げ電源がある位置には、防災備蓄品を設置しないでください。

⚠注意

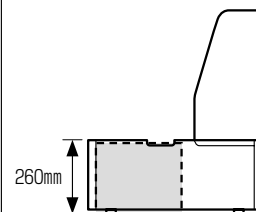
コンセント付きなど、台輪に配線を行っている場合、防災備蓄品がコード類にのらないように設置してください。

コード類の破損や断線により、ショート・火災の原因になります。

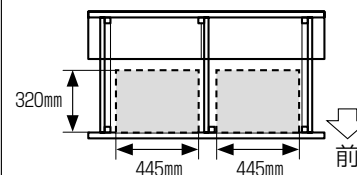


防災備蓄品を設置可能な台輪内部の有効寸法

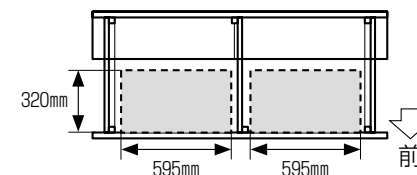
※スタンダードタイプのみ



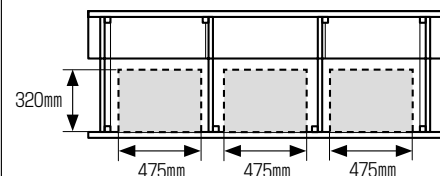
W1200



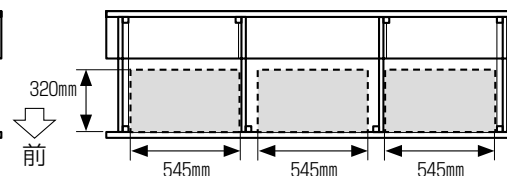
W1500



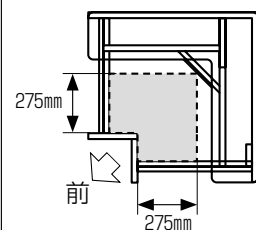
W1800



W2100



コーナー



⚠注意

上記のサイズを超えるものを置かないでください。

防災備蓄品やソファ本体の破損の原因になります。保管する備蓄品についてはお客様の責任のもと管理してください。

3 座の取り付け

㊹ページ「[7]座の取り付け」を参照して、座を取り付けてください。